

平成30年7月豪雨における熊本県内の状況

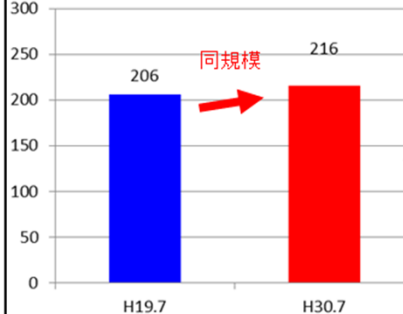
河川改修の事業効果(大鞘川)

- 二級河川大鞘川水系大鞘川では、平成9年に発生した洪水を契機とし、平成11年より河川改修(旧広域基幹)に着手した。
- その後も出水による家屋浸水被害が頻発しており、特に平成19年の集中豪雨による出水では、浸水面積800ha、床上浸水7戸、床下浸水58戸の被害が生じた。
- 平成30年7月豪雨においては、平成19年出水時と同等以上の降雨であったが、総合流域防災事業による堤防等の整備を行ったことにより、浸水被害の発生がなかった。

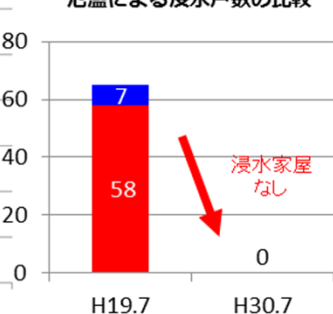
位置図



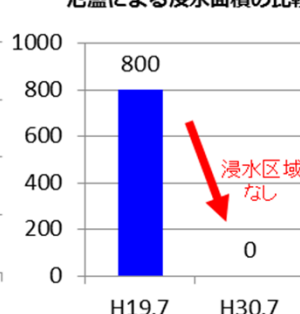
累加雨量の比較(第二大鞘橋観測所)



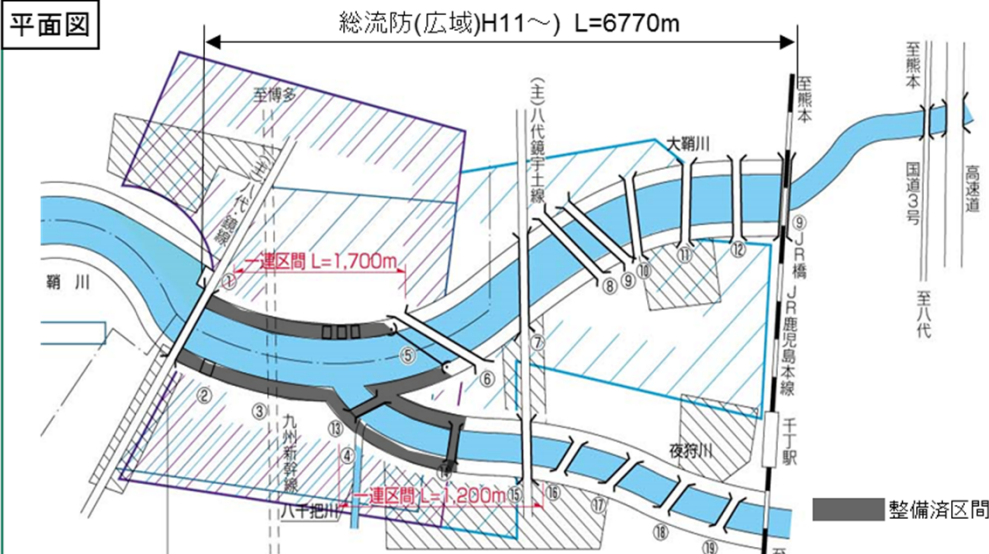
氾濫による浸水戸数の比較



氾濫による浸水面積の比較



平面図



横断面図

